

横浜市がん検診について

1 横浜市がん検診の概要

横浜市では職場等ではがん検診を受ける機会がない方を対象として、横浜市がん検診を実施しています。

肺

40 歳以上
エックス線検査 (680 円)

乳

40 歳以上
マンモグラフィ (680 円)
または マンモグラフィ+視触診 (1,370 円)

女性のみ

胃

50 歳以上
内視鏡またはエックス線検査
(2,500 円)

大腸

40 歳以上
便潜血検査 (600 円) 【令和7年度は**無料**】

前立腺

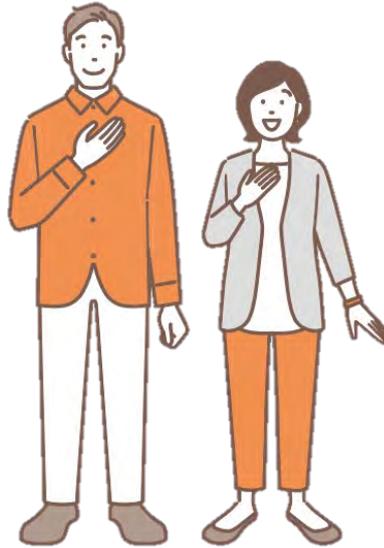
50 歳以上
血液検査 (1,000 円)

男性のみ

子宮頸部

30~60 歳
HPV 検査 (2,000 円) 【2025 年 1 月~】
20~29 歳・61 歳以上
細胞診検査 (1,360 円)

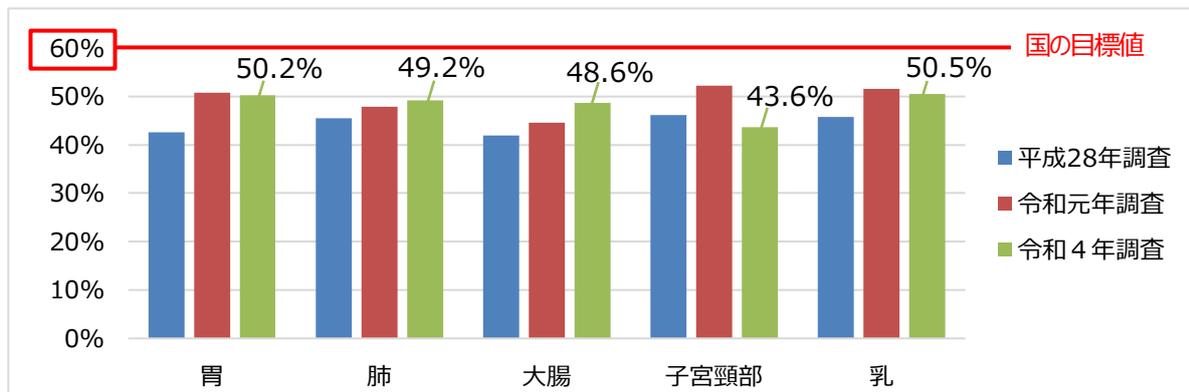
女性のみ



※70 歳以上の方はすべてのがん検診を無料で受診することができます。

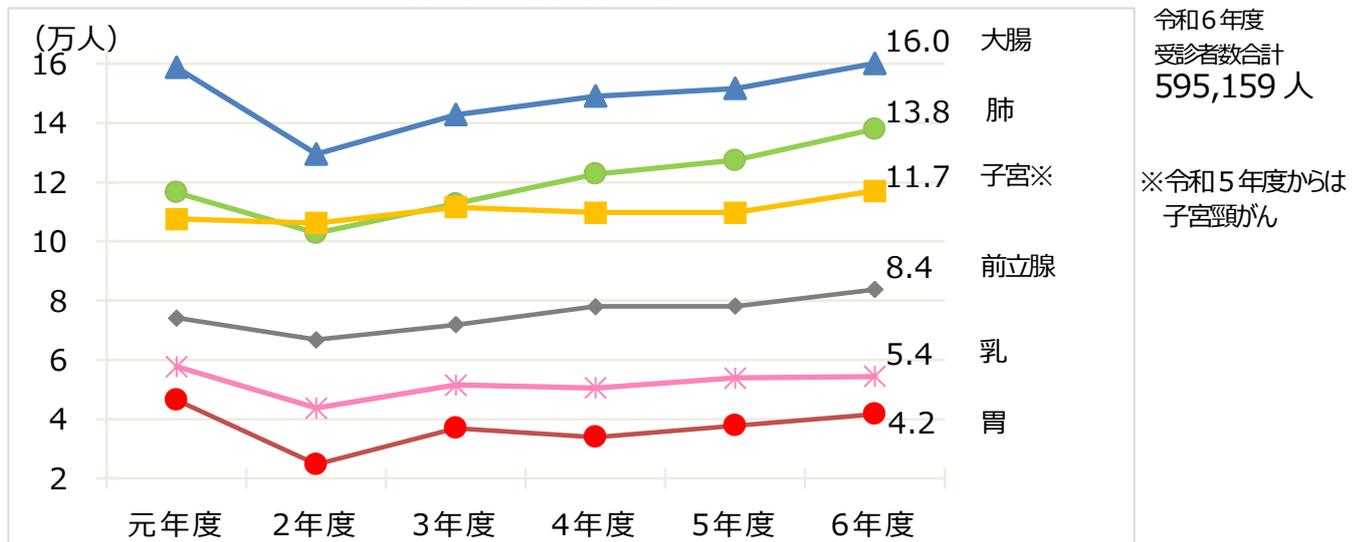
2 がん検診の現況

横浜市民のがん検診受診率 (国民生活基礎調査による推計値)



※国民生活基礎調査の大規模調査 (3年ごと、無作為抽出した地区内の全ての世帯対象) ではがん検診の受診に関する調査が行われ、都道府県や政令指定都市の推計値が集計されます。

横浜市がん検診受診者数

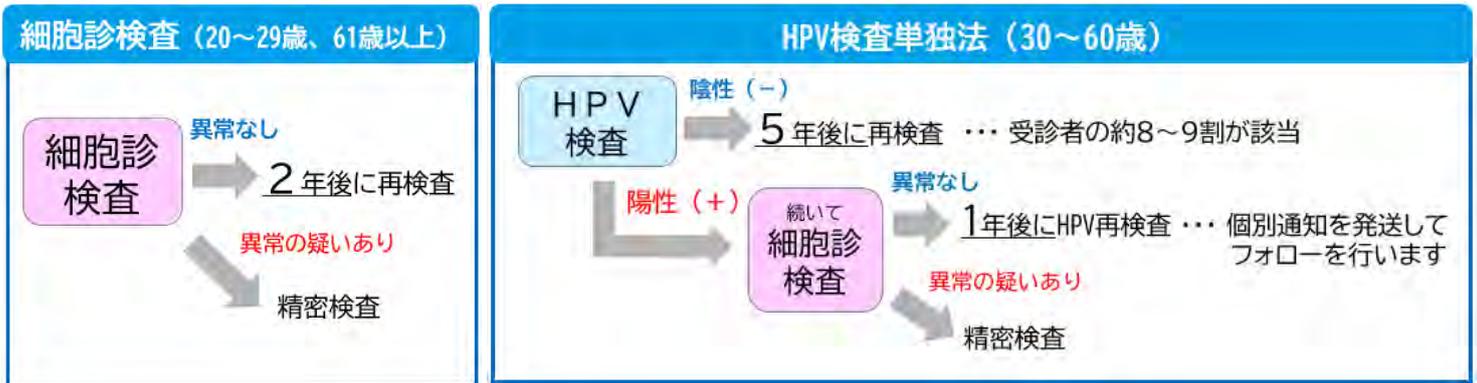


3 受診率向上に向けたこれまでの取組

(1) 子宮頸がん検診 HPV 検査単独法の開始 (令和7年1月～)

令和7年1月から、30歳から60歳の女性を対象とする子宮頸がん検診において「HPV検査単独法」を開始しました。子宮頸がんのほとんどは、HPV(ヒトパピローマウイルス)が子宮頸部に持続的に感染することが原因です。HPV検査は、そのHPVの感染の有無を調べる検査です。

HPVは性交経験のある人の大半が感染するといわれていますが、感染しても1、2年でウイルスは免疫力により自然に排除されます。しかし、一部には感染が持続して、がんのリスクを上げる場合があります。



令和7年1～3月の受診者数 16,801人 (1月:1,376人 2月:6,403人 3月:9,022人)

【参考1】受診券バーコードシール

30歳～60歳*のあなたへの大切なご案内です。

横浜市では子宮頸がん検診に**HPV検査**を新たに導入します！
この手紙が届いたあなたは対象です。
同封のチラシをご確認のうえ、**必ずこちらのご案内を持って**受診してください。
※がん治療中の方などへ届いてしまう場合がございますが、何卒ご容赦ください。
※検診票は医療機関でお受け取りください。

受診は簡単! 2ステップ

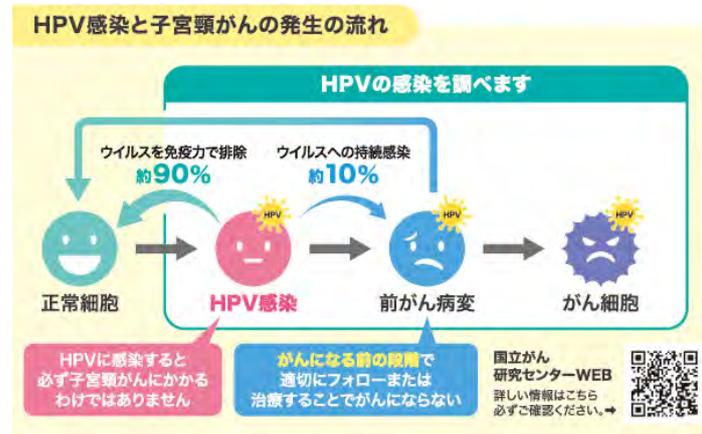
STEP 1 医療機関を選ぶ! **STEP 2** こちらのご案内を持って医療機関で受診!

医療機関提出用 予備

受診券番号: 012345678

剥がさずそのまま医療機関にお持ちください

【参考2】HPV感染と子宮頸がんの発生の流れ



(2) 65歳の方のがん検診無料化（令和6年4月～）

多くの方が退職され、職場等でのがん検診を受ける機会が減少する65歳のタイミングで、定期的な受診のきっかけとしていただくことを目的として、がん検診を無料化しました。

65歳の受診者数（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	前年比
胃がん（エックス線）	409	979	2.39倍
胃がん（内視鏡）	784	2,996	3.82倍
肺がん	2,607	5,016	1.92倍
大腸がん	3,614	5,317	1.47倍
子宮頸がん	1,083	2,873	2.65倍
乳がん	1,154	2,984	2.58倍
前立腺がん	1,925	3,704	1.92倍



広報ポスター

(3) 70歳以上の方の精密検査無料化（令和7年1月～）

70歳以上の方はすべてのがん検診を無料で受診することができますが、令和7年1月から、横浜市がん検診を受けて「精密検査が必要」となった方の早期発見・早期治療を後押しするため、精密検査にかかる医療費の自己負担分の助成を開始しました。

（令和7年1～3月の助成実績：96件、約86万円）※5月9日時点、前立腺がんを除く

(4) 新たながん検診サイトのオープン（令和6年11月～）

令和6年11月に新たなウェブサイト「横浜市がん検診サイト」をオープンし、約1,400か所のがん検診実施医療機関を様々な条件で検索できるようにしました。（令和6年11月～令和7年3月のページ閲覧数：約16万件）

検索画面

検索結果画面

4 令和7年度取組

(1) 無料クーポン及び受診勧奨通知の送付

20～24歳の女性には子宮頸がん検診、40歳の女性には乳がん検診、65歳の方にはすべてのがん検診の無料クーポンを発送します。

(発送時期：令和7年6月下旬、対象者数：約15万人)

また、がん検診の受診を促すため受診勧奨通知をお送りします。

(発送時期：令和7年7月中、対象者数：20～69歳の方約190万人)

無料クーポン送付内容

がんの種類	対象年齢	対象者数
胃、肺、大腸、子宮頸部、乳、前立腺	65歳	約4.1万
乳	40歳	約2.2万
子宮頸部	20歳	約1.8万
	21～24歳	約7.3万

(2) 子宮頸がん検診無料クーポンの対象年齢拡大

新たに21歳から24歳までの女性（受診歴のある方を除く）に子宮頸がん検診の無料クーポンを送付します。

無料クーポンをきっかけとして、女性の健康推進の観点から定期的な検診受診の習慣を持つことや、かかりつけの婦人科を持つことの大切さを伝えます。

無料クーポン番号のご案内
令和7年4月1日時点で**65歳**のあなたは無料で横浜市がん検診を受診できます

対象者 昭和34(1959)年4月2日～昭和35(1960)年4月1日生まれの方

※各がん検診を1回受診できます。受診日をメモしてご利用ください。

胃がん	月 日	(女性)乳がん	月 日
肺がん	月 日	(女性)子宮頸がん	月 日
大腸がん	月 日	(男性)前立腺がん	月 日

窓口でクーポン番号をお伝えください。

ダウンロードはこちらから

クーポンで自己負担額が**0円!**

【胃、肺、大腸の検査を受けた場合の例】
検査費用 ……約24,500円
横浜市からの助成 ……約20,500円
クーポン ……約4,000円
自己負担金 ……0円

有効期限は**令和8年3月31日**です

検診の流れ

- 受診する医療機関を選びます。
横浜市がん検診サイト
実施医療機関はこちら
- 住所・生年月日が確認できる書類(マイナ保険証・免許証など)を持って医療機関へ行きます。
- 医療機関で**クーポン番号[2565]**を伝えてください。
※本日ができず待診する必要はありません。

横浜市がん検診の検査項目などの詳細はこちら

二次元バーコードから検索できない方は横浜市がん検診で検索してください。

無料クーポン番号のご案内
令和7年4月1日時点で**21～24歳**のあなたは**無料**で横浜市子宮頸がん検診を受診できます

※これまでに、横浜市子宮頸がん検診を受診したことがない方に限ります

対象者 平成12(2000)年4月2日～平成16(2004)年4月1日生まれの方

窓口でクーポン番号をお伝えください。

ダウンロードはこちらから

クーポンで自己負担額が**0円!**

検査費用 ……約7,500円
横浜市からの助成 ……約6,140円
クーポン ……約1,360円
自己負担金 ……0円

有効期限は**令和8年3月31日**です

検診の流れ

- 受診する医療機関を選びます。
横浜市がん検診サイト
実施医療機関はこちら
- 住所・生年月日が確認できる書類(マイナ保険証・免許証など)を持って医療機関へ行きます。
- 医療機関で電話と検査を受けます。
クーポン番号[2520]を伝えてください。
※本日ができず待診する必要はありません。

女性の健康推進ヘルスケアラボ

このサイトでは、女性の健康に関するセルフチェックができます。自身の健康状態を把握し、必要に応じて医療機関に相談しましょう。
※厚生労働科学研究費補助金を受けた研究班で運営しています

がん検診手帳はこちら

がん検診手帳では、女性特有のがんについて詳しく知ることができます。

65歳無料クーポン (圧着はがき)

21～24歳子宮頸がん無料クーポン(圧着はがき)

(3) 働く世代のがん検診

ア がん対策推進企業助成金

社員のがん検診の受診や治療と仕事の両立支援を促進するため、就業規則の改正等を行った法人を対象として「がん対策推進企業助成金」を6月下旬から開始します。

イ 健康保険組合や協会けんぽとの協働

職場によっては、がん検診の実施が限られている場合や被扶養者にはがん検診を受ける機会がないことがあります。

その場合、市内にお住まいの方であれば横浜市がん検診を受けていただけるため、新たに健康保険組合や協会けんぽと協力して受診勧奨を進めます。

横浜市がんのお知らせ

協会けんぽ 被扶養者のあなたは横浜市がん検診を受けましょう!

生活習慣やがんは無症状のまま進行することが多い病気です。早期化を助けるために、検診を受けてみましょう!

※おなじみ 特定検診
基本がん検診 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、前立腺がん

横浜市がん検診

協働医療機関のご案内

協働医療機関の検索はこちら

協働医療機関マップはこちら

協働医療機関の検索はこちら

協働医療機関の検索はこちら

がん検診で早期発見!

がんを早期発見するために、定期的な検診を受けましょう。

でも、検診が面倒で受診しない方が多い。検診が面倒だから行かないでいい!

NO! 症状がないうちに見つかるからこそ、効果的なんです!

2人に1人ががんになる時代です。

がんは日本人の死亡原因の第1位。

がん検診、実施医療機関などのお問い合わせは
横浜市けんしん専用ダイヤル
TEL:045-664-2606 FAX:045-664-3851
受付時間 8時30分～17時15分(日曜・祝日・年末年始を除く)
協働医療機関の検索はこちら

協会けんぽ被扶養者向け受診勧奨チラシ